

【小学校3～6年生】

「森・川・海・水辺の環境しらべ隊」

—理科・社会・総合的な学習の時間—



◇ 主なねらい

・川の水環境調査を通して、水環境の実際を知るとともに、水環境の保全について行動目標を考える。【SDGs6・14・15】

◇ 適期 7月～10月

◇ 活動人数 40人程度

◇ 対象 小学校3・4・5・6学年

◇ 日程 1日（職員…バスに同乗もしくは公用車で先導） 部分的にプログラムを実施することも可

◇ 準備物・服装等

個人	学校・団体	国立立山青少年自然の家
<ul style="list-style-type: none"> ・長袖・長ズボン・帽子・筆記用具 ・水筒・しおり・長靴・タオル ・着替え(くつ下など必要に応じて) ・レジ袋(長靴入れ)・雨具 ・リュック・生活科バッグ 	<ul style="list-style-type: none"> ・CODパックテスト ・救急セット ・携帯電話(緊急連絡用) ・トランシーバー 	<ul style="list-style-type: none"> ・無線機 ・水生生物調査用具(指標生物下敷、バット、手網、ミルソー) ・マイクロプラスチック調査用具(ふるい、シャベル)

◇ 活動場所と活動内容(所要時間は目安)

①立山博物館 ブナ林ジオラマ見学 所要時間 30分

◇ 見学のポイント

- ・森の保水力について、樹木の形態(枝と根)を確認しながら学ぶ。
- ・川の始まりが森(山)であることを知る。
- ※ 解説は立少職員が行う。



②立少「前谷沢」にて源流観察 所要時間 1時間

◇ 観察のポイント

- ・岸壁に滴る、「川になる1滴の水」を見つける。
- ・森(山)と川の近さや、小さな沢が合流しながらだんだんと大きな川になっていくことを確認する。



③中流 環境調査 所要時間 1～2時間

◇ 環境調査のポイント

- ・水生生物を採集し、水質指標生物下敷を用いて水質を調べる。
- ・パックテストを行い、化学的な水の汚れ具合を調べる。
- ・川原のごみの量を調べる。
- ※ 水生生物の採集方法は、立少職員が指導する。
- ※ パックテストが学校で準備できない場合は、必ずしも行う必要はない。



④立山町上水管理センター見学 所要時間 1時間

◇ 見学のポイント

- ・川を流れる水はきれいだが、それを飲み水にするためには、多くの処理が必要であることを学ぶ。
- ※ 上水管理センターの見学予約については、学校側で行う。



出典 google ストリートビュー

⑤岩瀬浜 環境調査 所要時間 1～2時間

◇ 環境調査のポイント

- ・海岸に多くの漂着ごみを見つけ、川原のごみの量と比較する。
- ・いろいろな川から海へごみが流れていることに気づく。
- ・砂の中にも細かなプラスチックごみがあることを知る。



【特にオススメの学習パック】

③中流 環境調査 ⇒ ④立山町上水管理センター見学

- ・環境調査から、川原に若干のごみはあるものの、常願寺川を流れる水はとてもきれいな水であることを捉える。しかし、その水を人が飲めるようにするためには、多くの工程と処理が必要であることを知ることができる。

③中流 環境調査 ⇒ ⑤岩瀬浜環境調査

- ・中流域から川を下って、人が生活する場所が多くなるとごみが増えていく現状が捉えられる。川から流れてきたごみが多い海岸の様子から、環境の保全に必要なことを考えさせられる。